

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	唐津市立湊中学校
-----	----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 教育活動全体を通して、生徒の豊かな心の育成に努めた。引き続き、いじめ防止及び不登校対策のための早期発見と早期対応を行う。 どの教科の学習においても、生徒が互いに考えを共有し、より良い考えを高めたり、考えを広めようとする活動を行った。今後も継続し、協働的学びが「深い学び」となるよう、各教科の「見方・考え方」を意識した指導を行う。 タブレット端末の更なる活用について、職員研修や授業実践を行い、学力向上のための効果的な活用について実践する。 キャリア教育のために職業講話や職業体験学習を行った。これらの体験をもとに、生徒達が夢や目標をもって何事も取り組み、自己実現のための学力向上やスキルを身につけさせる。
------------------	---

2 学校教育目標	感謝・自立・挑戦
----------	----------

3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 生徒が「湊中」でよかった。（母校への誇り、充実した学校生活、進路保障） 保護者・地域が「湊中」に通わせてよかった。（生き生きとした子どもの姿、進路先確保） 教職員が「湊中」に勤めてよかった。（風通しの良い職場環境、職能向上）
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価	
	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果
●学力の向上	○主体的に学習に取り組む生徒の育成 ○家庭学習の充実	○ラーニングマウンテンを活用した単元計画による実践をした教師90%以上 ○毎日の家庭学習を1時間以上する生徒の割合を70%以上	・校内研究の取組を実践し、全教師が授業公開をする。 ・発達段階や能力に応じた学習内容に取り組みせたり、家庭学習の習慣化を図るための手立てを工夫する。	B	・ラーニングマウンテンを作成し、学びの振り返りをさせている教師は88.9%であった。 ・毎日1時間以上家庭学習をしている生徒の割合84.4%であった。	B	・全教師がラーニングマウンテンを活用し、授業公開を行った。意欲的に授業に取り組む生徒の割合が97%であった一方で、毎日1時間以上家庭学習をしている生徒の割合が65%と中間評価より減少した。
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて、肯定的な回答をした生徒80%以上	・各学年担当で、年間計画に沿って道徳の授業を実施する。 ・道徳に関するアンケートの実施 ・生徒全員が人権作文に取り組む。	A	・道徳の授業で、自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりして、考えを深め、安心して学校生活を送ることができる生徒の割合90.6%であった。	A	・全校で人権作文に取り組む、人権について深く考える時間を設定することができた。 ・道徳の授業では94.5%の生徒が自分の考えを深めて、安心して学校生活を送ることができた。
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実、いじめを作らない人間関係、雰囲気作りなどの教育活動	○いじめ防止等(いじめの定義・いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員88%以上	・定期的に全校生徒に生活アンケートを行い、生徒の学校生活を把握する。	A	・生活アンケート、じぶんログを活用し、生徒達の小さな変化や職員間での情報共有に努めている。	A	・毎日の「じぶんログ」の中に生活面の質問がある。その質問の内容で生徒たちのこころの変化が観えてくるときもある。何気ない回答にも敏感になって声掛けをした。
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒80%以上	・諸行事等で活躍の場を増やし、「じぶんログ」のコメントや学級通信で紹介したり、自己肯定感を高めさせる。 ・キャリアパスポートの活用を工夫する。 ・高校説明会や職業講話、職業体験等を通して、生徒の進路意識を高める。	A	・先生から認めてほめてもらえると答えた生徒96.8%、夢や目標をもっている生徒81.3%。1、2年生は、キッズニア福岡で職業体験学習を実施し、視野を広げることができた。今後もキャリア教育の充実を図り、将来の夢や目標を持つ生徒の割合を増やしていく	A	・先生から認めてほめてもらえると答えた生徒91.9%、夢や目標をもっている生徒81.0%であった。職業体験学習や先輩に学ぶ会などを通して、卒業後の夢の実現に向けて意欲を高めることができた。
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	○スマホやネットゲーム等の使用時間を1日2時間未満とする生徒80%以上	・「じぶんログ」や生活アンケートを行い、個に応じた指導や助言をする。 ・参観日を利用して、親子での情報モラル教育を実施する。	B	・ゲームやSNSをする場合、2時間未満と答えた生徒は61.3%。ネットの使い方と健康面での影響も含めて指導していく。 ・親子情報モラル教育講演会を実施し、正しいネットの使い方について学んだ。	B	・ほとんどの生徒がゲームやSNSをし、2時間未満の使用は51%である。関連動画やSNSの使用について、改めて時間を改善するように指導していく。 ・親子情報モラル教育講演会もあり、ネットトラブルはなかった。
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に良い食事をしている」児童生徒90%以上	・家庭科の授業や給食時間を活用した食に関する指導を行う。	B	・しっかりと食事をとっている生徒84.4%。食事作りなどの手伝いを意識するようよびかける。食育について指導し、健康な生活を送れるようにしていく。	B	・食育では、ふるさと先生やお魚教室を取り入れ、食材についての知識や生産者に対する感謝などを身につけた。 ・給食センター調理員への感謝のメッセージを作成し送ることができた。 ・健康に気を付けて食事を摂っている生徒は70%だった。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○部活動の複数顧問により負担が軽減されていると回答した教員80%以上 ○長期休業中を中心に、年間8日以上 の年休を取得した職員が80%以上	・定時退勤日・部活動休養日を徹底する。 ・部活動の複数顧問により、指導の負担を軽減する。 ・管理職が年休取得を推進するとともに、声かけを行う。	B	・定時退勤日はおおそ実行できている。 ・複数顧問により負担軽減がされていると感じている教員44.4%であり、声をかけあって分担する必要がある。 ・年休を取りやすいような雰囲気や取得促進を呼びかける。	B	・部活動休養日は徹底できた。 ・複数顧問により、部活動の指導に係る負担が軽減されていると回答した教員75%。 ・年間8日以上 の年休取得者が92%となり年休を取りやすい雰囲気となった。

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価	
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果
○主体的に活動できる生徒の育成	○様々な体験活動の充実と地域や社会貢献活動への参加	○地域や社会貢献を通して、自己有用感や達成感を得られた生徒80%以上 ◎地域人材の活用や体験活動の充実させ、肯定的な回答をした保護者80%以上	・生徒会活動やボランティア活動、地域活動への積極的に参加するよう呼びかけや活動の工夫をする。 ・ひまわりプロジェクトに参加し、災害ボランティアやSDGsの意識を高めさせる。	B	・地域行事やボランティア活動に参加している生徒68.8%であり、今後も呼びかけを行う。保護者の回答は85.7%であり、今後も、生徒の活躍の場や体験活動を設定し、情報発信をしていく。	B	・地域行事やボランティア活動に参加する生徒は70.2%であり、80%には達していないが、社会活動として主体的に募金活動を行うなど、生徒自身が積極的に活動する場面が見られた。
○個別最適な学び	○ICT利活用	○校内タイピング検定合格者50%以上	・毎週月曜日の朝の時間タイピング練習を行い、年に数回の検定試験日を設定する。 ・教師は教科の単元の中でICTを用いた授業計画を行う。	B	・タイピング練習により、スムーズに入力できるようになっていると思う生徒78.1%。タイピング検定に向けて、毎週月曜日に練習に取り組んでいる。	A	・タイピングの技能を身に付けた生徒が79%で、苦手意識を持っている生徒が25%の結果が出た。次年度は、タイピング検定の回数を毎学期実施する。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の学校目標である「感謝・自立・挑戦」を生徒達に意識付け、定期的に振り返りをさせながら豊かな心の育成に努めた。 学力向上指定校となり、職員研修や授業実践を行い、タブレット活動や学び合い、ラーニングマウンテンの研究に努めた。今後も、生徒達に効果的な学習指導ができるように研究を深めたい。 キャリア教育のために、職業体験や卒業生による「先輩に学ぶ会」を実施した。生徒達が夢や目標をもって取り組めるように、体験学習や学力向上に取り組み、更にキャリア教育を充実させる。
--------------------	--